

本を選ぶ

高校図書館版

NO.39 2005年(平成17年)5月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス
本社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 5-20-5-504 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

読者カードの愉しみ

新刊書を買うと、時おり読者カードというもののがさまっている。住所氏名や読後の感想などを書いて出版社あてに送るための、あのハガキである。読者カードを入れる出版社も少なくなったような気がするが、私が出版社に勤めていた頃も、読者カードはめったに返ってこないのが常識だったから、入れても無駄だと廃止する版元が増えたのかもしれない。

考えてみれば、私自身も読者カードをきちんと書いて出した経験は数えるほどしかない。十数年前、H社の読者カードに、内容はいいが誤植が多いという感想を書いたら、担当編集者から手紙が届き、よかつたら誤植部分を指摘してほしいと返信用封筒が同封されていた。当時、編集者だった私はよく仕事で校正していたが、他社の本の校正までボランティアする気にはなれなかった。私の友人は、読んでいて気づいた誤植をF社の読者カードにいくつも書いて送ったところ、お礼に本が一冊送られてきたそうである。この友人は、最近もH社の翻訳書の誤りを指摘する読者カードを出し、訳者からお礼の手紙をもらったと喜んでいった。編集者は、返ってきた数少ない読者カードをじっくり読んでいるものなのである。

ある日本人作家の本に入っていた読者カードに、著者の主張には矛盾がある、信用できないという内容の感想を書いて送ったこともある。しばらくすると、著者本人から怒りの手紙が届いた。

手書きの文字に怒りが満ち満ちていた。面白いのでごく冷静な(多少揶揄をこめた)返事を書いたところ、ますます逆上した二通めの手紙が来た。時間の無駄なのでそれ以上のやりとりはしなかったが、友人には「読者カードで著者とケンカするなんてきみぐらいのものだ」と言われた。だが、批判的な感想を送ってきた読者にわざわざ怒りの手紙を送る著者もあまりいないと思う。

本の感想を書き送ったのがきっかけで、心から敬愛できる人にめぐりあったこともある。大川公一氏が作家富士正晴の生涯と作品をたどった評伝『竹林の隠者 富士正晴の生涯』(影書房)を読んで、この作家が大好きになった私は、数年前、ミニコミにこの本の書評を書き、版元の影書房にも送った。数日後、影書房の代表の松本昌次氏からファクスが届いた。「いい書評を書いていただき、有難うございます。たとえ150部であろうと、こういう文章がのるミニコミこそ立派です。富士さんに最もふさわしい雑誌であり、文章です。わたしが出会った文学者で、富士さんは最高の人でした。作品も最高です。ただ、日本のくだらない文壇が、それを認めないだけです。あなたのような方がいることが、老いた出版人として、最も嬉しいことです。心からの感謝をこめて——」

その二日後、私は影書房で松本さんに初めて会い、それ以来、今に至るまでつきあいが続いている。あのとき松本さんが無名の私の文章を認め、「いい文章」と言ってくださったことは、私の支えのひとつとなっている。

(市川恵里：翻訳者)

引き継ぎは大変だ…… — 7年目のレポート —

宮崎健太郎

この春、秩父の山を下り、武蔵野の面影残る地区の学校に異動しました。異動はやっぱり大変ですね。「今年は異動させてもらうぞ!」と、勝手に意気込んでいたのですが、やはり異動前後はげっそりしていました。

マニュアル作りは日頃から……

昨年度の目標は、一昨年からはじめていた図書館管理システムへの完全な移行。その甲斐あって、2月には遡り作業がほぼ終わり、全面的に管理システムに移行できました。異動に備えて引き継ぎ文書に手を付けはじめたのは3月はじめのこと。木下さんの「スタッフマニュアルをつくらう」をはじめ、他の方の例も参考に当初はかなり意気込んでいました。

実は、引き継ぎ文書の作成は「内示が出る頃にはあらかた終わっちゃうんじゃないの?」と楽観視していました。耐震工事などで不必要な文書はガンガン捨ててあるし、日頃からパソコンのフォルダを仕事別に分けてあるし、文書のファイルも組織的にまとめるつもりでいました。だから、引き継ぎ文書も楽に作れるだろう、と高をくくっていたのです。

でも、その見通しは甘かったですね。なにしろ、そこに潜んでいたのは「魔の悪循環」。

- 引き継ぎ文書を書こうとメモを取る
- 手を付けかけた仕事に気がつく
- 「これはまずい」と仕事に手を付けてしまう
- 收拾がつかなくなる
- 引き継ぎ文書が進んでないことに気づく
- 別の件について書こうとメモを取る
- 手を付けかけた仕事に気がつく……

結局、いち早く着手したわりには肝心の引き継ぎ文書に手が回らず、3月31日の夜10時まで職場に残っても最低限の引き継ぎ文書しか書き残せずに転勤したのです。しかも、管理システムへの遡りにモレがあったをことすっかり忘れ、3,000冊分の手元データが手つかずのままでしたし……(Kさん、ごめんなさい)。自分の仕事のアラを探すためにも、木下さんが連載しているとおり、日頃からスタッフマニュアルをつくつ

てなくちゃいけないんだな、と、今さらながら身をもって体験したのです。

標準化? オリジナル化?

引き継ぎの作業をしながら痛感したのは、県全体で各校の図書館運営の標準化の必要です。

埼玉には埼玉県高等学校図書館研究会(埼玉高図研)が作成した「資料整理の手引」というマニュアルがあり、資料整理や目録作成については統一の指針があります。でも、管理システムが各校でバラバラでもはやこれすら風前の灯火。まして、予約や授業利用についてはマニュアルすらありません。統一された方法があれば引き継ぎは格段に楽だよな、と恨み節がこぼれました。利用者、特に転勤のある職員からは、学校ごとに授業利用ができたりできなかったりと思われているのも実情です。

でも、新しい勤務校に来て痛感しているのは標準化の功罪。今度の学校の校舎は、昭和40年代後半から50年代前半の高校急増期に建てられた埼玉県立の高校に共通の設計で、閲覧室はHR棟5階に6スパン(教室三つ分)。蔵書数は35,000冊。その資料のうち単行本は入り口から一番奥に5連の高書架に完全にNDCの順に収められている、という配架も、県内では標準的な配架です。

でも、その配架が前任校の狭い閲覧室に慣れた身にはつまらない。前任校では、奥の棚にまで生徒が普通にアクセスし、資料を手にとっていました。でも、着任校の広い館内では、ずらりと並んだ書架の奥にまではなかなか足が伸びません。まして、単行本の小説は入り口から一番遠いところに……。司書の目から見て標準化されているが故に、かえって利用者の利便を損ねていると思えて仕方ないのです。

標準化は最低限のサービスを保障する代わりに、いったん標準化されてしまうとブラッシュアップが難しく、結局それ以上のサービスにまで行き着けなくなるのかな、ということなのでしょうか?

標準化された新しい職場で、いかにブラッシュアップしたものを、しかも引き継げる形で作っていただけるか? 着任校での大きな目標になりそうです。

(みやざき けんたろう:埼玉県立新座高等学校)

システムが変わります

春ですねえ。花粉症の方にはつらい季節でしょうが、満開の桜の花をみると、心がウキウキしてきます。実はウキウキしている理由は、もう一つあります。懸案だった図書館ソフトの更新が実現することになりました！

ハードもソフトも買い取りでなく、リース契約になります。リースの分は図書費の中で維持するようにとの条件が付いたので、書籍購入費がぐんと減ってしましますが、もともと潤沢な図書費をいただいている春日部東高校のこと、利用者にもちょっと我慢してもらおうと思っています。

ソフトが変われば、ブックリストだってすぐできるし、HPだって作れるし、なにより、無駄な動きが省ける分、仕事に余裕が生まれます。あれもこれもしたいことがいっぱい！

5月中旬にはハードもソフトも新しくなる予定なので、何がどう変わったか、そのために何をしたかは、また、くわしくご報告しますね。

図書館と「情報」

前回、書かせて頂いた「情報」の授業は、最後に生徒のパワーポイントを使ったプレゼンテーションを見せてもらうことで終わりました。グループでの発表だったのですが、リーダーを中心に話をすすめる中、一人一人が取り組んだ問題に対して意見を述べて、なかなか良かったです。「年金」問題をテーマにしたグループで、「いろいろ調べていったら、自分たちが大人になったら負担することが多くて、年金なんてもらえなくなっているかもしれないことに気づいて老後が不安になった」なんて発表をする子もいて、聞いているこちらも思わず苦笑してしまいました。

今年はS先生は二年生の「情報」の授業を担当されているのですが、エクセルなどで簡単にできてしまうものではない、ちょっと工夫したグラフや表の作り方を生徒に学ばせたいと、今、資料を集めています。名も知らぬ小さな世界の国を生徒に一つ選ばせて、一年かけてその国の貿易や産業や文化について情報を集め、最後は一人でその国を紹介するようにまとめるのだとか。図書館を、

木下 通子

また、使ってもらえるようなので楽しみです。

そうそう、新入生の図書館オリエンテーションは一年生の「情報」の担当の先生二人に時間をいただいていた。どちらの先生も、オリエンテーションの導入で「情報の授業で図書館を使うというのは、図書館と情報は関係が深いからだ。インターネットだけで情報を検索できると思わないように」というような話をしてくれました。お一人は、昨年度S先生と組んで情報の授業をされていた先生で、今年度も図書館を使わせてもらいますと声をかけていただきました。

「情報」の授業をきっかけに、図書館のレファレンスコーナーをちょっと充実させました。この図書館は、エアコンの排気パイプがじゃまをして、窓下に上手に書架が収まりません。そこで、特注で辞書・事典類を入れる窓下書架を新設してもらいました。中途半端な幅の窓にもサイズを測って作ってもらったので、ぴったり。すっきり、きれいに本が収まりました。

恒例の蔵書整理

3月には、恒例の蔵書整理も行いました。昨年は、年間約2500冊くらい本が増えたので、棚もすぐにぎゅうぎゅうになってしまいます。夏と春に棚から本を抜くのが、図書委員会とともに作業する恒例行事になってしまいました。

書架から本を抜いても、今度はすぐに書庫がいっぱいになってしまいます。そこで、思い切って書庫に入っている古い本を廃棄することにしました。この学校では、まだ廃棄基準も選書基準も作っていないので、アバウトな捨て方になってしまったのですが、複本でたくさんある古い本や、文庫本、明らかに内容が古い本など、図書部や教科の先生と探してみると出るわ出るわ。結局、2800冊くらいを除籍処分にしてしまいました。

実は、システム上の問題もあり、蔵書点検もここ4～5年していません。パソコンが替わったら夏休みには蔵書点検をして、データもすっきりさせていきたいと思っています。

掲示板も新設

春休みには図書館の外に、掲示板を作りました。実際には掲示板をつけてもらうお金がなかったので、掲示紙になってしまったのですが…。

模造紙を丸く切り取り、それをブッカーで壁にペタッと貼ってレタリングの上手な生徒に「インフォメーション」と表示を作ってもらいました。

青の紙を使ったので、遠くからも目立ちます。今まで白い壁だった図書館の入り口が、ぐんと明るくなりました。ここには、図書館からのお知らせだけでなく、バスの時刻表や学校に送られてくる〇〇展などの案内も張り出しています。図書館がある五階は一年生のHRがある階でもあり、オリエンテーションで紹介したら、一年生がよく見ているようです。

新入生のオリエンテーションをすると、気持ち引き締まります。毎年同じことをやっているようでも、新鮮な子ども達（う～ん、変な表現!?!）を前にすると、こちらも新学期だ！頑張るぞー！という気持ちになるから不思議です。

オリエンテーションの流れ

オリエンテーションでは、まず、私が司書であるということをお知らせします。

「保健室に保健の先生がいて、みんなが具合の悪いときやけがをした時の面倒をみるように、数学の先生に数学のことを聞けばわかるように、本に関することは何でも私に聞いて下さい。私は図書館のプロです」と説明します。そうすると「プロだって」と笑いが起きたりしますが、そこは怯まず話を続けます。そう、司書は専門職です。

利用者のプライバシーを守る図書館であること。個々へのサービスに力を入れているので、気軽に声をかけてくださいということを強調して、「予約」の仕方を詳しく説明します。貸出・返却はパソコンで行っているのでも、簡単にできます。でも、予約は、利用者が自発的に本を図書館に頼もうと思わないと成立しないので、一歩踏み込んだ利用が必要です。最初のオリエンテーションでの動機づけが大切です。

リクエスト用紙を見せて、書き方を説明したり、去年予約が多かった本を実際に紹介したり、みんなからリクエストされた本が実際に図書館に

届くまでどんな流れになっているかを、丁寧に説明します。「本を買う予算は、約〇〇万円あります。図書館には、本屋さんと同じに3回来ています。みなさんからリクエストされた本は、司書が毎日チェックして、メールで発注しています。本が届いたら、すぐにパソコンに入力して、借りられるように準備します。部活動が終わってから自分で本屋さんに行きに行くより、図書館に頼む方が早いかも」こんな風に具体例をあげて話をすると、すぐにリクエストしてくれる子もいます。実際にその本の現物もあったとなると、「早いぞ」と感動してくれます。こういう出会いがとても大切だと思っています。

うちの学校は、65分授業を展開していて、図書館のオリエンテーションはそのうちの50分をもらってやっているのですが、何がどこにあるかを説明したり、分類毎にブックトーク風に本を紹介していると、45分くらいを使ってしまいます。残り、5分で図書館を自由にみて、本が借りたい人には借りてもらおうようにしています。この5分という時間はとっても微妙な時間で、「ああ、もうちょっと見たかったのに…」というのには、とてもいい時間です。一年生は同じ五階がHRなので、休み時間も続けて本をみて、借りていく生徒や、改めて昼休みに寄ってくれる生徒もいます。

プライベートも充実

うちの子ども達は小学校二年生、4歳、2歳になりました。年明け早々、3人が順番にインフルエンザにかかった時には、多少面食らいましたが、その後は風邪もひかず、よく食べ、よく遊んでいます。親が安心して働けるのは、子どもが元気なのが何よりです。保護者会総会が花盛りの中、父親に出てもらった学童保育所の総会で、彼はみごとに役員にくじを引き、会長になってしまいました。トホホ…。

私が住んでいる市が市町村合併で大きな市に吸収されました。税金があがったり、保育園の運営システムが変わったりして、サービスが悪くなったり…。まあ、いろいろありますが、新年度はやっぱり気持ちいい！今は、早く来い来い新ソフトと、パソコンが変わるのが待ち遠しいです！

（きのした みちこ：埼玉県立春日部東校司書）

若い読者のための世界史 原始から現代まで

ゴンブリッチ 著 中山 典夫 訳 定価 3,990円(税込)
A5判カバー装 本文382頁 挿図72点

世界的に有名な美術史学者が、私たちの世界におこったさまざまな歴史的出来事を原始時代から現代までやさしく語った世界史。地球の上に起きたいろいろな疑問や身近な問題について世界とは何なのか、そのときどきの情景を描いた的確なイラストとともに、多くの考えるきっかけを与える、2005年話題の書。

中央公論美術出版 <http://www.chukobi.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7 TEL.03-3561-5993 FAX.03-3561-5834

「教える一学び」ための新シリーズ創刊！
6月10日刊行

理想の教室

第一期・全20冊

十代でめぐりあった一冊の本、自分の考えに影響を与えた大切な文章…。この教室ならではの先生とともに、名作と出会い、テキストをじっくり読む楽しさをお届けします。講義テキストは、『悪霊』『ロミオとジュリエット』『裏窓』『パンセ』『こころ』『銀河鉄道の夜』『白鯨』ほか。四六判並製・カバー装／平均150頁・各1365円(税込)

<http://www.msz.co.jp> みすず書房 東京・文京・本郷

<http://www.keisoshobo.co.jp>

*価格税込

田川建三 キリスト教思想への招待

歴史を遡り聖書を繙き、問題の背景がよく分る地点へ誘う。 3150円

金山勉・金山智子 やさしいマスコミ入門

発信する市民への手引き 現状や理論、市民メディアまで。 2520円

吉田久一 新・日本社会事業の歴史

社会福祉入門書の決定版。古代から現在までを15章で概説。 2520円

勁草書房 <http://www.keisoshobo.co.jp>

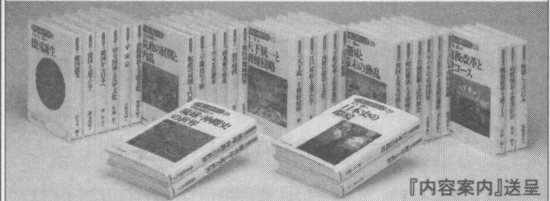
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL.03-3814-6861 FAX.03-3814-6854

高校図書館必備！最新最高の「日本の歴史」決定版

日本の時代史 全30巻 完結

企画編集委員 石上英一・井上 勲・五味文彦・高埜利彦・渡辺 治
A5判／各3360円 全巻セット価=100800円

旧石器時代から現代まで、第一線の歴史学者が最新の視点から歴史を見直す。各巻わかりやすい時代解説と魅力的な個別テーマで編成した最高水準の「日本の歴史」。



『内容案内』送呈

吉川弘文館 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話03-3813-9151(代表) 価格は5%税込

ウッドハウス・コレクション

全3巻

P・G・ウッドハウス／森村たまき・訳

四六判・並製カバー・平均300頁・各巻予価2100円

- *イギリスではシェイクスピアと同じくらい有名で、ミステリーのファンからも人気の高いユーモア小説の大巨匠ウッドハウス。
- *あの《モンティ・パイソン》や《ミスター・ビーン》の元ネタともいわれる抱腹絶倒のウッドハウスの小説の中でも、最高に笑える《ジューズ物》から傑作3作を厳選。
- *ぐうたらなダメ男の若旦那パーティーと、トンチがさえわたる召使いのジューズ。この速コンビがくり広げる、笑いが渦巻くドタバタ人間喜劇。

第1回配本

◆『比類なきジューズ』◆

—以下続刊—

第2回配本・6月刊行予定『よじきた、ジューズ』

第3回配本・10月刊行予定『それゆけ、ジューズ』

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15【税込価】
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427

●「二〇〇六年問題」に向けて何をすべきか。

●「こんな入試に
なぜできない」

●大学入試「数学」の虚像と実像
上野健爾・岡部恒治／編
四六判 2100円

●著名な画家が解き明かす
コンピュータの基本原理。
コンピュータの基本的原理。
コンピュータは今や私たちの身の回りのあらゆるものに組み込まれている。その基本原理をイラストと易しい文章で解説。

●石頭
コンピュータ
安野光雅／著 野崎昭弘／監修 A4変型判 2520円

●「二〇〇六年問題」に向けて何をすべきか。

●「こんな入試に
なぜできない」

●大学入試「数学」の虚像と実像
上野健爾・岡部恒治／編
四六判 2100円

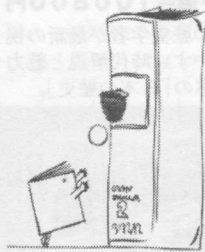
●著名な画家が解き明かす
コンピュータの基本原理。
コンピュータの基本的原理。
コンピュータは今や私たちの身の回りのあらゆるものに組み込まれている。その基本原理をイラストと易しい文章で解説。

●石頭
コンピュータ
安野光雅／著 野崎昭弘／監修 A4変型判 2520円

日本評論社 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4(税込価)
TEL.03-3987-8621 / <http://www.nippyo.co.jp/>

まだ名前のない 小さな本

J・A・ミリヤン
P・パストール=絵



昔むかしとおしまいという二行しか書かれていない小さな本。「ほく、大きくなったら何になるの？」ママは科学雑誌、パパは民法書…なんと登場人物はすべて「本」という、ユーモラスな冒険物語。思わず微笑むイラスト入り。安藤哲行訳。

◆四六判/112頁/1680円(税込)

晶文社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-12
電話 03(3255)4501
<http://www.shobunsha.co.jp/>

限りなく広がる知識の世界 辞典700点突破!

全国紙社説総覧

大学入試の「小論文」対策には最適な
参考資料 2004年(全4冊)好評発売中!

朝日・毎日・読売・日経・産経・の全国紙5紙の社説を3ヶ月ごとに分け、時系列的に配列して全収録。各紙の論点を比較検討することにより多角的にとらえ、主張が読みとれ、的確な情報を整理・把握できる。テーマ見出しの索引により同一テーマの社説をまとめて読める利点がある。第5回(2005年1月~3月)収録分は5月25日発売予定。
B5判 各600頁 定価各12600円(税込)

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
☎03(3233)3741
パンフレット進呈

育児の事典

平山宗宏ほか2名編

定価14700円

住まいの事典

梁瀬度子ほか7名編

定価23100円

科学大博物館

橋本毅彦ほか2名監訳

定価27300円

オックスフォード動物学辞典

木村一郎ほか3名訳

定価14700円

中国・四国(日本の地誌第9巻)

日本の地誌(全10巻別巻第1回)

定価26250円

'05 総合図書目録あります。ご請求下さい。

朝倉書店

東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 ☎03-3260-7631

—メディカルサイエンスシリーズ—

感染症の科学 うつるしくみと予防
宮地勇人 著/定価(税込)1890円/B6判/176頁

アレルギー読本 大島充一 著
定価(税込)1890円/B6判/192頁

長寿考 古典と医学に見る長生きの秘訣
太田保世 著/定価(税込)1575円/B6判/110頁

「認知症」とはどんな病気?
「認知症」の正しい理解のために
灰田宗孝 著/定価(税込)1575円/B6判/116頁

東海大学出版会

〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名3-10-35 電話0463(79)3921
蔵商品管理センター 電話048(447)8570
WebPR誌WebTOKAI公開中 <http://www.press.tokai.ac.jp/>

学校のための法学

自律的・協働的な学校をめざして

篠原清昭/原田信之編著 今後の法と現場の変化と課題を体系的にわかりやすく解説。二六二五円

●論争の構図をあげり出し、本質を抽出
学力論争とは 山内乾史 著
なんだったのか 原清治 著
一八九〇円

◆教科指導、クラス指導で教師が配慮すべきこと
教師の力 教室の「空気」を入れかえる
石川保茂著 「あの先生の授業はうまい」「わかりやすい」と言われるヒントが満載。一八九〇円

ミネルヴァ書房

京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 ※価格税込

2005年新企画

綾部恒雄監修

結社の世界史 全5巻

国家と家族の崩壊が進行して今、その中間に位置する「結社」の役割が注目されています。結社は人びとの信仰や生活、政治運動や経済活動の中核を形成し、歴史を動かしてきました。結社の理念や結集のカタチから、それぞれの時代と社会のダイナミズムに迫る試みです。

- 第1巻 結社・結社の日本史(福田アジオ編)
 - 第2巻 結社が描く中国近現代(野口鐵郎編)
 - 第3巻 アソシアシオンで読み解くフランス史(福井憲彦編)
 - 第4巻 結社のイギリス史 クラブから帝国まで(川北稔編)
 - 第5巻 クラブが創った国 アメリカ(綾部恒雄編)
- 体裁:四六判 上製本 平均300頁 本体価格:3000円(税別)
二〇〇五年四月下旬 第一回配本

6 クラブが創った国 アメリカ

東京都千代田区内神田一―三三三三
電話 〇三―三三三三―一八三三

山川出版社